



三園福祉園の広報誌「クローバー」は、登園を利用されている方々・ご家族をつなぐ情報誌として毎月発行しています。この「拡大版」は、地域の方々にも当園の活動を知っていただき、地域に根差した施設になればという思いを込め、年3回発行するものです。

## 猪俣施設長挨拶



あけましておめでとうございます。

昨年は元旦早々能登の地震がありました。今も復旧が進まずに苦しめられている方々が数多くいらっしゃいます。1日でも早い復旧・復興を願うばかりです。新年早々で恐縮な話ですが、東京の地震災害はいつ発生してもおかしくありません。その備えはいかがでしょうか。まだの方は、急いでお願いします。

また、日本各地においては異常気温や豪雨などが頻発し、天候は熱帯のような激しいものになっています。暮らし方も変わっていかざるをえません。さらに社会を見ますと詐欺事件や強盗事件が多発し、世情の荒みが気になる日々です。治安の良し悪しなど気にすることがなかった、かつての日本はどこかへ行ってしまったのでしょうか。

それでも、このような何かと落ち着かない状況だからこそ、三園福祉園での生活は安心安全をしっかり確保して、利用者の皆様にとって、充実した生活が送れる場所となるよう、本年もしっかりと努めてまいります。

昨年は久しぶりに園をあげてのおまつりができました。多くの方々に来ていただき、楽しい時間を過ごすことができました。行事も徐々に戻ってきました。

私たちは、これからも新たな取り組みや支援内容の充実を進めていきます。そして、地域の中で地域の皆様と交流のある福祉園、ボランティアの方々をはじめ多くの方々に支持される福祉園を目指して、職員一同邁進してまいります。

利用者をご家族の皆様におかれましては、今年が健康で幸多い一年となられますよう心よりお祈り申し上げましてごあいさついたします。

施設長 猪俣 正伸

## 吉岡次長挨拶



あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年はコロナ禍を脱したことを象徴するかのように、盛大なみその祭りの開催、外出行事の再開や園内イベントの充実など様々な活動を実施することができました。このようなイベント時の皆さまの笑顔は、実に楽しそうでこちらも嬉しくなり、たくさんのパワーをいただくことができました。

さて、WHOのシンボルマークには杖に巻き付いた蛇が描かれています。これはギリシア神話の医療の神、アスクレピオスが持っていた杖に由来しているそうです。世界中の救急車にもこのマークが描かれています。

「毒や牙など危険なイメージがある蛇が、なぜ医療や薬学の象徴に？」と思いますが、実は、蛇は脱皮を繰り返すことから、再生や蘇生の象徴なのだそうです。

そもそもなぜ蛇は脱皮するのか??それは蛇の体を覆う鱗(うろこ)が硬くて伸び縮みしないため、体が成長すると窮屈さを感じるからです。自分がより大きく成長するために、古い皮を脱ぎ捨てるのです。巳年が挑戦や変化に前向きになるとも言われる所以かもしれませんね。私も一皮むけた自分を目指して、日々精進してまいります。時に蛇行したくねくね道も楽しみながら、今年もにぎやかに皆さまと楽しい日々を過ごしてまいりたいと思います。

今年もどうぞよろしく申し上げます。

次長 吉岡 奈穂子

## 施設公開

12月9日（月）～13日（金）の5日間にわたり施設公開行事を実施しました。

開催期間中は各グループの日中活動の公開、試食会、イベンターさんによる歌の鑑賞会、餅つき大会、カラオケ健康体操が行われました。

歌のイベントではディズニーのパート・オブ・ユア・ワールドや踊りを交えたエビカニクスなど様々な歌が披露され、聴いている利用者さんもリズムカルに体を揺らしながら楽しまれていました。餅つき大会では利用者さんが法被をまとい、周りの大きな掛け声とともに杵を握り、ペタン、ペタンと餅をつき、大きな鏡餅が完成しました。また、最終日のカラオケ健康体操では手や指の体操を音楽と映像に合わせて楽しみながら運動しました。

行事期間中はグループでの活動やそれぞれのイベントにおいて利用者さんが楽しそうに参加され、また、ご家族や他の福祉園の利用者さんの来園もあり充実した5日間となりました。

### 歌の鑑賞会



### もちつき



### カラオケ 健康体操



## こもれびグループ行事

12月17日（火）にこもれびグループは光が丘に行ってきました。光が丘 IMA のフードコートにあるパーティールームを借り、昼食（注入）や休憩などを過ごせるようにして光が丘公園を散策しました。天気に恵まれ風もなく晴天。公園内は秋の気配を少し残した景色を眺めながら、ゆっくりと散策してきました。利用者さんは目を大きくしてキョロキョロと興味津々に景色を見て楽しんでいました。コロナ禍で活動が制限されていましたが、久しぶりの外出行事にも体調を崩すことなく楽しむことができました。

